

# 旭公民館だより

発行 令和8年6月  
旭公民館  
館長 伊吹 公雄  
電話 45-5903  
FAX 45-5903

## //しげちゃんの魂と ともに笑う// 旭寄席 追悼の一日



6/14(日)旭寄席実行委員会(皿田直之会長)

主催、第16回旭寄席が開催されました。

今回は、長年にわたり旭寄席を支えてこられた 佐藤茂夫さんの追悼公演として、笑福亭恭瓶さん、そして鶴瓶師匠にご出演いただきました。

鶴瓶師匠は今回で3回目の出演。全席指定300席は早々に完売し、会場は大入り満員。

茂夫さんが築いてきた“旭寄席のあたたかさ”が、そのまま形になったような光景でした。

開演前には、お二人が茂夫さんとの思い出を語られ、鶴瓶師匠は「俺は大学時代からの付き合いでもう50年以上」と深い絆を語り、恭瓶さんも「いえいえ、私もこの旭寄席で11年のお付き合いです」と笑顔で

応じられました。

さらに鶴瓶師匠は、「しげの魂がここにおる。今日ここにいるのは、“しげの人の好き”それで来てる。」と静かに語り、会場全体がしみじみとした空気に包まれました。

落語が始まると、いつもの旭寄席らしく、会場は大きな笑い声であふれ、茂夫さんが愛した“人が集まり、笑い合う場”がしっかりと息づいていました。

旭寄席は、佐藤茂夫さんの遺志を受け継ぎ、これからも地域のみなさんに笑いとお温かさを届けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



満席の会場に響いた、あたたかな笑いとしげちゃんへの想い



「しげちゃんの魂とともに笑う」その想いを共有した出演者・役員・岡谷町のみなさん

(裏面へ)

## =地域医療の志にふれる=

### 「名医死す」鑑賞会

亀寿いきいきサロン



6月17日(水)、亀寿いきいきサロン(桑田千代子代表)の定例会が旭公民館で行われました。

今回は旭公民館との共催で、以前旭公民館だよりで紹介しましたドキュメンタリー作品「名医死す」のDVD鑑賞を行いました。

作品では、地域にゆかりのある藤野昌言医師が、患者一人ひとりに寄り添い、時に自らの生活を削ってまで地域医療に尽くした姿が描かれています。

医療が十分に整っていなかった時代、「目の前の命を救う」という強い信念のもと、昼夜を問わず地域の人々に寄り添い続けた姿を描いています。

患者の家を訪ね、時には自分の休息を削りながらも、「困っている人を放っておけない」という思いで奔走する姿は、参加者のみなさんの胸に深く響いたようでした。

鑑賞後には、「感動した」「府中にこんな立派な方がいるのを初めて知った」「名前は聞いたことがあったが、今回その功績を知ることができた。すばらしい」といった声があがりました。



「名医死す」を静かに鑑賞する参加者のみなさん、地域医療に尽くした医師の姿に、思わず見入る表情が並びました

また、作品の中で描かれた“地域医療を支える覚悟”は、コロナ禍で医療従事者が懸命に働く今の社会とも重なり、参加者のみなさんが改めて医療の大切さを感じる時間となりました。

今回の鑑賞会は、地域の偉人を知るだけでなく、「支え合う地域とは何か」を考えるきっかけにもなり

り、参加者同士の語り合いも自然と広がりました。

いきいきサロンの活動が、健康づくりや仲間づくりだけでなく、地域の歴史や価値を共有する“学びの場”としても大切な役割を果たしていることを改めて感じる時間となりました。

旭公民館では、これからも地域の魅力を再発見し、みなさんがいきいきとつながれる場づくりを続けてまいります。

## 旭小学校1年生 絵画展示

### 題 材

「やぶいたかたちからうまれたよ」

6/30(火)～7/31(金)

旭公民館 1階展示スペース